

平成23年度一般会計補正予算説明資料

8 款 土木費  
 2 項 道路橋りょう費  
 2 目 道路橋りょう維持費

道路企画課 (内線：7356)

(単位：千円)

事業名	補正前	補正	計	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起 債	その他	一般財源	
(新) 地域自主戦略 交付金(橋梁補修) [一般公共事業]	0	974,500	974,500	603,250	<183,400> 256,000		115,250	県負担額 298,650
トータルコスト	0	1,012,842	1,012,842	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.0人	4.8人	4.8人	橋梁耐震工事、補修工事、調査・設計積算 等				
工程表の政策目標 (指標)	安全、安心な道路の整備、維持管理費のコスト縮減							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

<耐震補強>

大規模地震時における救助・救援活動や物資輸送を確保するために指定された緊急輸送路において、地震による橋梁の倒壊や落橋を防止するための耐震補強工事を実施する。

<橋梁補修>

「道路橋りょう長寿命化修繕計画」に基づき、橋梁点検の結果でクラックやサビなどの損傷が大きく対策が必要と判定された橋梁について、再塗装やクラック注入などの補修を実施する。

2 主な事業内容

<耐震補強>

- 平成23年度事業概要：国道431号（境水道大橋）外6橋 509百万円
- 6月補正で溝口伯太線（煌花橋）に着手し、耐震補強対象の全橋梁に着手する。

【耐震補強の進捗状況】

県管理橋梁	耐震補強対象	対策済	着手済み	6月補正着手	未着手
1,861橋	133橋	122	10橋	1橋	0橋

※耐震補強対象：緊急輸送道路上の15m以上、2径間以上、平成8年示方書以前の基準の橋梁。

<橋梁補修>

- 平成23年度事業概要：新見日南線（霞橋）外15橋 465.5百万円

【橋梁補修の進捗状況】

対策が必要な橋梁	補修済	平成23年度実施
449橋	120橋	16橋

3 これまでの取組状況、改善点

<耐震補強>

- 平成7年に発生した阪神淡路大震災の教訓を踏まえ地震防災特別措置法が施行され、平成8年10月に「緊急輸送道路ネットワーク計画」を策定した。
- 平成8年12月に橋梁の耐震基準が改定された。
- 東日本大震災では、東北・常磐自動車道は耐震補強が完了していたため橋梁被害が少なくスピード復旧を果たした。

<橋梁補修>

- 平成19・20年度に橋長15m以上の橋梁（700橋）の点検を実施。
- 平成21年度に「道路橋りょう長寿命化修繕計画」を策定。
- 平成21～22年度に橋長15m以下の県内全橋梁（約1,160橋）の点検を実施。
- 損傷度のランクが高いものから順次対策を実施。

(注)起債欄の上段<>書きは、交付税措置額を除いた金額である。  
 県費負担額は起債欄の<>書きの金額と一般財源の金額を加算した額である。